

報告事項 ツ

「ふるさと鳥取企業読本」の作成について

「ふるさと鳥取企業読本」の作成について、別紙のとおり報告します。

令和2年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

「ふるさと鳥取企業読本」の作成について

令和2年3月20日
小中学校課

本県では、子どもたちが自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる児童生徒を育成するため、「ふるさとキャリア教育」を推進しています。

このたび、県教育委員会では、県内の企業292社の情報を掲載した冊子を作成しました。冊子の後半部分には、職場体験充実のための方策や活用実践例等も掲載しています。地元の身近な企業の魅力を知るとともに、各学校における職業調べや職場体験活動等で本書を活用いただく予定です。

1 期待される効果

- ・ととりの企業の情報を中学生等に伝えることによって、地元にも多くの優良企業があることを知り、将来職業選択をする際に鳥取での就職を考えるきっかけとなることが期待できる。
- ・県内のほとんどの中学校で実施されている、「職業調べ」や「職場体験学習」において、この補助教材を活用することができる。
- ・鳥取県家庭教育推進協力企業との連携を図ることにより、教員は職業調べや職場体験学習の受け入れ可能な企業を探す際の資料として活用することができ、企業も中学生等に向けて自社のPRをすることができ、お互いにメリットがあると考えられる。

2 内容

企業情報(292社)

産業別(会社の業種で探そう)
50音順(企業名で探そう)
企業情報

教師のためのお役立ち情報

生徒が伸びる職場体験学習を
職場体験充実のための方策
「ふるさと鳥取企業読本」活用実践例
キャリア教育参考資料
国の事業の活用を

「教師のためのお役立ち情報」を記載し、職場体験学習が単なる活動に終わらず、児童生徒のキャリア発達に結び付き、将来の進路につながる主体的な学習となるよう働きかけています。

「ふるさと鳥取企業読本」の使用場面について掲載し、各教科等のさまざまな学習で冊子を活用いただけるようにしています。具体的な活用実践例等も掲載しており、実際の授業で活用できるようにしています。中学校、義務教育学校(後期課程)には、1学級の生徒分の冊数を配布し、授業等で全員が使用できるようにしました。

また、児童生徒が興味を持てるよう、先輩からのメッセージや、1日のスケジュール、お仕事7つ道具等を掲載しています。
※添付資料参照

3 配布数及び配布先

	冊子部数	備考
小学校合計	122	各1冊
中・義務教育学校合計	2,051	各1年生(義務教育学校は7年生) 1クラス人数+5冊
高等学校合計	120	各5冊
特別支援学校合計	9	各1冊
その他	648	掲載企業配布用 他
県教委事務局合計	10	
地教委合計	40	各2冊(地教委、図書館)
	3,000	

4 配布時期 令和2年3月中下旬

生徒が伸びる職場体験学習を

【小学校・中学校・高等学校におけるキャリア発達と職場体験等の関連(例)】 ★読本使用場面例

出典：文部科学省「職場体験ガイド」平成17年を参考に作成

小学校	中学校	高等学校
キャリア発達段階		
進路の探索・選択にかかる 基盤形成の時期	現実的探索と暫定的選択の 時期	現実的探索・試行と社会的 移行準備の時期
体験的活動(例)		
<ul style="list-style-type: none"> ★地域の探索 ★家族や身近な人の仕事調べ ★見学 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ★商店街での職場見学 ・中学校の体験入学 	<ul style="list-style-type: none"> ★家族や身近な人の職業 聞き取り調査 ★連続した5日間の職場体験 ★子ども参観日 (家族や身近な人の仕事調べ) ★職場の人と行動をともにする ジョブシャドウイング ・上級学校体験入学 	<ul style="list-style-type: none"> ★インターンシップ (事業所、大学、行政、研究所等 における就業体験) ★学校での学びと職場実習を 組み合わせて行う デュアルシステム ・上級学校の体験授業 ★企業訪問、見学

3年間を見通した事前学習・事後学習の工夫・充実

はじめに

キャリア教育の効果的な導入のために、
小学校での取組を把握しよう!

■校区の小学校からの情報収集、生徒からの聞き取りなど

小学校での活動例

- 1/2成人式を開こう ~大人になるっていいね~ <4年>
- 写真展から社会をのぞこう ~仕事の意味を探ろう~ <5年>
- マイクツドライフ ~夢や希望をもち、努力すること~ <6年>



事前学習 (例) 中学校1年生

将来の夢や職業、働くことなど、自分の生き方について考える

取組内容例

- 自分の生き方を考えよう
 - ・職業レディネステストなどを通じた自己の興味・関心の理解の深化
 - ・職業人講話(保護者や地域の人々)
- 職業について考えよう
 - ・職業調べ
 - ・家族に「働くこと」についてインタビュー

Point

具体的な活動を通して、身近な人々の職業や生き方に触れ、自分の将来や仕事を考えることができるようにすることが重要です。

「ふるさと鳥取企業読本」活用実践例

〈第1学年〉 自己の在り方やよりよい生き方を考えさせる

私たちの未来へ

ねらい

職場訪問や職場体験活動を通して、働くことの意義や職業への理解を深め、自己の在り方やよりよい生き方を考えることができる。

- 様々な職業について、情報を収集し、感じ取ったことや考えを分かりやすくまとめて表現することができる。
- 職場体験活動を通して地域の産業や勤労の価値などについて体感するとともに、将来の自分の生き方について考えを深めることができる。
- 職場体験活動を通して、マナーや礼儀を知るとともに、自己の将来に向けて自分なりの行動をとることができる。

本実践とキャリア教育

職場体験活動を中心とした本実践は、中学校におけるキャリア教育の重要な部分を担うものです。これまで行われていた職場体験活動を、キャリア教育全体の中でとらえ直し、その位置付けを明確にすることが大切です。

また、各教科等との関連や地域・企業との連携を図りながら、生徒一人一人が将来の自分の生き方について希望をもって考えることができ、探究的な学習となるように単元を構成していくことが大切です。

全体構想

主な学習活動(総時数38時間)	時数
○ 課題をとらえ、単元計画を立てる。	1
○ 「働く」という視点から今の自分を見つめる。 (道徳1、特活1)	3
○ 職業について調査し情報収集する。 (職業人の講話・調査)	8
○ 職業体験活動での課題や活動のねらいを明らかにする。(特活1) (課題把握、体験場所決定等) (本時1/4)	4
○ 職場体験活動	
○ 体験の振り返りと情報交換をする。	6
○ 新たな課題を設定し追究する。	12
○ 自分の未来設計図を描く	4

教科等との関連

- <国語>
「話すこと・聞くこと」
- <道徳>
「勤労・奉仕」
「役割と責任」
「個性の伸長」
「礼儀」
- <特別活動>
・学校行事職場体験活動
・学級活動
「自分を知る」
「働くことの意義」

地域・家庭・企業等との連携

- 家庭への調査及び協力依頼
- 地域企業・事業所等への協力依頼

ふるさと鳥取企業読本が活用できます!!

